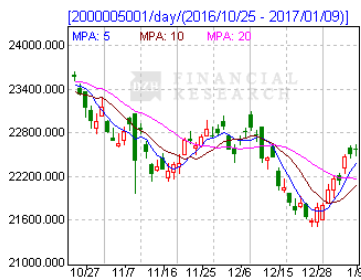




### 【指数日足チャート】

#### ▼ハンセン指数



#### ▼上海総合指数



### 先週のハンセン騰落ランキング

#### ▼値上がり

順位	銘柄	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	ワーフ(00004)	56.10	8.83
2	ペトロチャイナ(00857)	6.18	6.92
3	レボグループ(00992)	5.02	6.81
4	シパック(00386)	5.87	6.73
5	新鴻基地産(00016)	104.00	6.12
6	瑞声科技(02018)	74.75	6.10
7	中国神華能源(01088)	15.40	5.48
8	東亜銀行(00023)	31.30	5.39
9	中国海外発展(00688)	21.65	5.35
10	恒隆地産(00101)	17.26	4.99

#### ▼値下がり

順位	銘柄	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	中国蒙牛乳業(02319)	14.52	-2.81
2	中国建設銀行(00939)	5.83	-2.35
3	中国旺旺(00151)	4.89	-1.61
4	長江インフラ(01038)	61.55	-0.24
5			
6			
7			
8			
9			
10			

#### ▼今週の主なイベント

- 1月11日(水) 【米国】トランプ次期大統領記者会見
- 1月13日(金) 【中国】貿易統計(12月)

### 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	19,887.38	-76.42	-0.38	0.63	0.63	19,762.60
NASDAQ	5,531.82	10.76	0.19	2.76	2.76	5,383.12
日経225	19,454.33	-66.36	-0.34	0.27	1.78	19,114.37
上海総合	3,171.24	16.92	0.54	2.18	2.18	3,103.64
滬深300(CSI300)	3,363.90	16.23	0.48	1.63	1.63	3,310.08
ハンセン	22,558.69	55.68	0.25	2.54	2.54	22,000.56
H株	9,602.32	-8.73	-0.09	2.21	2.21	9,394.87

### 【株式概況】

#### 先週の動き:ハンセン指数は2.3%高と続伸、上海総合指数は1.6%高と反発

香港市場は正月で2日が休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で2.3%高と続伸した。財新中国製造業 PMI がコンセンサス予想を上回ったことに加え、米ドル高の一服を受けて香港を含む新興市場からの資金流出懸念が後退したことが買いを誘った。ハンセン指数は4日に小幅反落したものの、6日には終値で約1カ月ぶりの高値水準を回復した。上海総合指数は同じく4日間で1.6%高と6週ぶりに反発。企業業績に対する期待に加え、人民元相場の急反発が相場を支えた。

#### 今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、トランプ次期米大統領の記者会見に注目

香港市場はしっかりの展開か。新興国市場からの資金流出懸念は依然くすぶるものの、先週末の米雇用統計で賃金の伸びが7年半ぶりの高水準になったことを受け、米景気の拡大期待が追い風となりそうだ。ただ、11日に予定されているトランプ次期米大統領の記者会見で対中強硬姿勢が改めて示された場合には、中国との関係冷え込みが決定的となり、相場の波乱要因となる可能性がある。一方、本土市場は不安定な値動きか。トランプ次期米大統領の記者会見や人民元相場の動向によっては波乱の展開もあり得る。

#### ▼今週の期待材料

- ◆先週末発表の米雇用統計で賃金の伸びが7年半ぶり高水準に、米景気拡大期待が相場の追い風に
- ◆人民元相場の下落が一服、対米ドル基準値は10日時点で年初から0.196%の元高水準
- ◆中国兵器工業集団が混合所有制改革の推進を発表、国有企業改革進展期待が高まる公算

#### ▼今週の懸念材料

- ◆11日にトランプ次期米大統領が記者会見、改めて対中強硬姿勢を示せば相場の波乱要因になる可能性も
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で5950億円の資金吸収、2週連続の資金吸収で資金がひっ迫
- ◆重慶市で住宅価格の上昇続く、重慶市政府は住宅価格高騰の抑止に向けて予約販売の監視を強化

### 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 16年のIPO調達額は251億米ドル、2年連続で世界1位
- ☆ 華能国際電力 (00902) : 16年10-12月期の国内発電量は2%増、16年通期は2%減
- ☆ 龍源電力 (00916) : 16年12月の発電量は22%増と好調、16年通期は14%増
- ☆ チェンミン・ペーパー (01812) : 16年本決算は製品価格上昇で純利益倍増の見通し
- ☆ 銀泰商業 (01833) : 筆頭株主による株式非公開化計画を発表、4割超のプレミアム
- ☆ 周大福珠寶 (01929) : 16年10-12月期の既存店売上高、本土は前年同期比4%増
- ☆ 中国銀河証券 (06881) : A株公開価格は6.81元に決定、A株上場で約40億元調達
- ◇ 中国中信 (00267) : マクドナルドの中国事業を米カーライルと共同で買収
- ★ 中興通訊 (00763) : 3000人規模の大規模リストラを計画と外電が報道
- ★ 神冠控股 (00829) : 16年本決算は約5割の減益見通し、製品価格下落で収益悪化

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。